

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

12月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター

〒861-0593

熊本県山鹿市山鹿511番地

TEL 0968-44-2185(代)

FAX 0968-44-2420

赴任挨拶



麻酔科長

相方 靖史

2023年11月より山鹿市民医療センターに麻酔科医として赴任いたしました相方（さがた）靖史と申します。1999年に徳島大学麻酔科に入局し、関連病院で麻酔業務に従事したのち、2007年に熊本へ移住して参りました。以前は菊陽町の熊本セントラル病院で勤務しておりましたが、この度、縁あって当センターに麻酔科医として勤務することとなりました。現在は熊本大学麻酔科にお世話になっています。

実をいうと山鹿にはほとんど縁がありませんでした。この度山鹿でお仕事をさせていただくことに少しの不安と大きな楽しみを感じています。地域に馴染み、皆さまに認めていただけるよう頑張ります。それから何といっても日本でも有数の温泉地ですので、お仕事から一歩離れれば山鹿の湯を堪能できる

ことを楽しみにしております。

さて、麻酔のお話になりますが、近年、麻酔は手術室内だけの業務ではなく、周術期を通して患者さんの管理を行うように変化しつつあります。また、一方で高齢化に伴い手術を受けられる患者さんの病態も複雑となり、周術期の安全管理は難しくなっています。周術期を支えるのは麻酔科医一人ではなく、各診療科の先生方やコメディカルの皆様のご協力があるからこそです。「周術期管理チーム」というコンセプトのもと、チーム医療を行う医療機関も全国に増えつつあります。複数の専門家が力を合わせて患者さんを支えることでより良い医療、より良い結果につながると考えます。

手術麻酔だけに限定していえば「意識なく」「痛みなく」だけではなく、「安心」「安全」「快適」な医療をご提供できるように努力してまいります。術後疼痛管理も積極的に関わっていきたいと考えています。「痛みがない」わけではありませんが、できる限り痛みが少なくなるように工夫します。

これから地域の皆さまのお役に少しでも立てるよう頑張ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

赴任挨拶	P 1
毎年BLS研修を行っています	P 2
新興感染症の発生を想定した訓練を開催しました	P 2
医療最前線 (153)	P 3
外来担当医表 (12月)	P 4

毎年BLS研修を行っています

みなさんはBLSという言葉をご存じでしょうか。BLSとはBasic Life Supportの略称で心肺停止または呼吸停止時に対する一次救命処置のことをいいます。BLSは専門的な医療機器や薬品などを使用する必要がないため、正しい知識や適切な処置方法を身につけていれば誰でも行うことが可能な救命処置です。

人間の脳は2分以内に心肺蘇生が開始された場合の救命率は

【研修の様子】



胸骨圧迫
(心臓マッサージ)
*100～120回のテンポ



新人看護師対象の研修の様子



AED装着時
*この時も胸骨圧迫は中断しません



人工呼吸器具による換気

は90%程度ですが、4分では50%、5分では25%程度に落ちると言われています。そのため、突然倒れた人がいればすぐに救命処置を開始しなければなりません。

看護師にとってもBLSは必要不可欠な知識・技術です。病院で働いていると実際にBLSが必要になる場面に遭遇しやすいため焦らず対応すること、そしてAEDを適切に使用できるようにするためには日頃からの訓練が大切です。

当センターには救急看護認定看護師を含めたBLSチームがあり、看護職員全員に対して心停止の早期判断、適切な胸骨圧迫方法、BLS使用方法、換気などについての研修会を毎年行っています。

今後も患者さんを含めた地域の皆さまが安心して病院をご利用して頂けるよう、環境作りと職員の技術向上に努めてまいります。

(文責：副看護部長 石原 千佳)

令和5年度 新興感染症の発生等を想定した訓練を当センターで開催しました

9月26日に山鹿市民医療センター外来において、新興感染症の発生等を想定した模擬訓練を行いました。感染対策向上加算届出施設の4医療機関と外来感染対策向上加算届出施設の11医療機関、山鹿保健所、鹿本医師会にご参加いただきました。

今回は当センターで初開催であり、前週に院内で模擬訓練のリハーサルを実施したうえで当日に臨みました。感染対策室では発熱した感冒様症状の患者さん（実は海外渡航者）が外来受診したというシナリオを準備しており、これに基づいた訓練となりました。

外来受付から発熱患者の待機コーナー、診察場所までを実際に移動しながら患者さんへの対応、診察手順、多部門との連携等を確認しました。このケースではその後の検査で麻疹感染が判明する設定であり、判定後の対応や届け出等についても確認し参加者間で共有しました。リハーサルを行っていたため比較的スムーズに進行でき、事務職員、医師、看護師、検査担当者等によるシミュレーションと外来での導線移動などもまずまず予定通りに実施できたと思います。感染対策ではチームワークやコ

ミュニケーションも重要であり、協力して知識や経験を共有する良い機会となりました。

40人以上の方に参加いただき、院内外から多くのご協力を賜りましたことをあらためて御礼申し上げます。新型コロナウイルスという歴史的なパンデミックを経験する中で、引き続き感染対策の向上を通じて地域貢献できるよう努めたいと考えおります。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

(文責：院長 石河 隆敏)



医療最前線 (153)



膝過度使用(over use)による障害

整形外科医師

横田 秀峰

外傷機転のないスポーツ障害膝を診察するにあたっては、関節内病変か関節外病変かを鑑別することが肝要です。若年者の場合、関節外病変では予後良好なものが大多数を占めます。今回はスポーツ障害膝の関節外病変で代表的な疾患についてご紹介いたします。

◆腸脛靭帯炎

【概念】腸脛靭帯と大腿骨外側上顆の間の摩擦により起きる炎症で、長距離ランナーに多くみられます。原因として腸脛靭帯の硬化、走行距離の増加、過度の歩幅、不適正な靴などが挙げられます。

【診断】大腿骨外側上顆に圧痛を認めます

【治療】腸脛靭帯のストレッチング、運動後のアイシングを徹底します。負荷の軽減を図る為に、悪路(下り坂、傾斜面、硬い路面)を控え、適正なシューズへ変更することも効果的です。外用の消炎鎮痛薬も必要に応じて併用します。内反膝/O脚がある場合は、外側楔状の足底板を使用して膝内反を制動します。保存療法が無効の場合、ごく稀に手術療法が行われます。

◆ジャンパー膝(膝蓋靭帯炎)

【概念】ジャンプ着地動作のような大腿四頭筋の伸張性収縮による衝撃吸収作用とキック動作のような大腿四頭筋の短縮性収縮による膝伸展作用が、交互

に頻繁に繰り返されるために膝蓋腱/大腿四頭筋腱に生じます。大腿四頭筋の伸張性低下/短縮例に多くみられます。病態は膝蓋骨上・下極の腱移行部での限局性変化、腱の微少部分断裂と壊死の存在です。負荷が繰り返されると腱は脆弱化し、断裂の程度が増悪します。尚、10歳代前半の骨端部に生じるSinding-Larsen-Johanson病(膝蓋骨下極)やOsgood-Schlatter病(脛骨粗面)は、本疾患と同様のメカニズムで発生する疾患と考えられています。

【診断】膝蓋骨上・下極の圧痛を認めます。MRIでは、軽症の場合T1、T2強調像で低輝度のまま腱の肥厚がみられます。重度の場合、腱内部が高輝度となります。

【治療】運動前のウォームアップ、運動前後の大腿四頭筋のストレッチング、運動後のアイシングを徹底します。シューズの適切な選択や走行路面(硬さ、傾斜)の再検討も有用です。症状が頑固な場合、トレーニングメニューの変更やトレーニング量の減少を考慮します。

手術療法の適応は、保存療法無効例で、かつMRIで腱内部が高輝度病変を呈した場合です。

関節外病変は予後良好なものが多いと申し上げましたが、初期対応を誤ると症状が慢性化してパフォーマンスの低下等につながる可能性があります。お困りの際は、遠慮なくご相談ください。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

原稿を募集いたします

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用ください。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

12月

診療科名		月	火	水	木	金
呼吸器内科		※ 後藤 由比古	※ 濱田 昌平	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科		—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科		上野 茂紀	竹野 洋司	本原 利彦	上野 茂紀 竹野 洋司	本原 利彦
内分泌・代謝内科		川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科		大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※ 小國 哲也 担当医	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)		横田 秀峰 中原 達秀 山元 雅典	工藤 智志 中原 達秀 山元雅典 / 湯本みずほ	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本 みずほ	手術 (担当医)
外科		別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 尾崎 宣之
乳腺外科		—	※ 富口 麻衣 (完全予約制)	—	—	—
泌尿器科		—	※ 原田 成美	—	※ 神波 大己 教授	—
小児科		※ 石井 真美 9:00～16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※ 石井 真美 9:00～16:30まで 予防接種(午後)	※ 石井 真美 9:00～16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 器 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
	眼科	—	非常勤医師 (完全予約制)	非常勤医師 (完全予約制)	—	—
産婦人科		※ 片渕美和子 (午後)	※ 片渕美和子 (午後)	—	非常勤医師 ※ 片渕美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)		織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科		吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来		外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 / 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診		高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。

当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。

※ 非常勤医師です。 ※ 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来

12月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法(予約制)	担 当 医	毎週 火曜・水曜	各 診 療 科
	宮 本 英 明	毎週 金曜（がん薬物療法専門医）	
禁 煙 外 来(予約制)	坂 田 和 子	毎週 月曜（午後）	Aブロック
睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	坂 田 和 子	毎週 火曜・木曜（午後）	
小 児 科 予 防 接 種	※ 石 井 真 美	毎週 水曜（受付時間13:30～15:30）	
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜（午後）	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片 渕 美 和 子	12/4月、5月、11月、12月、14月、18月、19月、25月、26月、28月	
P E G 外 来	担 当 医	毎月 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来（予約制）	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

◆注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>